

アグリカレッジ福島

☆ ☆ 集え！次世代農業の担い手よ！ ☆ ☆



福島県農業総合センター農業短期大学校（愛称「アグリカレッジ福島」）

〒969-0292 福島県西白河郡矢吹町一本木446番地1

Tel 0248-42-4111(代) Fax 0248-44-4553 E-mail nougyou.noutan@pref.fukushima.lg.jp

「アグリカレッジ福島」の教育概要

教育目標

実践的な農業の技術力と優れた経営力を備えた地域のリーダーとなる農業者を育成する。

■教育の方向

- 1 農業経営の実践に必要な知識及び技術に関する教育を行う。
- 2 地域をリードする農業経営者に必要となる経営管理に関する教育を行う。
- 3 国際的な視野に立ち農業情勢の変化に対応できる農業経営に関する教育を行う。

■ 令和5年度募集人員・令和4年度学生数

○ 令和5年度募集人員

学科名	募集人員
水田経営学科	15名程度
野菜経営学科	15名程度
果樹経営学科	10名程度
花き経営学科	10名程度
畜産経営学科	10名程度
} 60名	

○ 令和4年度学生数

学年	学生数	男子	女子
1 学年	45名	31名	14名
2 学年	48名	35名	13名
合計	93名	66名	27名

※詳細は学生募集要項を参照
※在校生数は令和4年4月1日現在

■ カリキュラム

	科目名	時間数		
		講義	実験	実習
教養	共通	生物基礎、化学基礎、数学基礎、国語表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、人間と社会、体育、教養講座		
	選択	225	0	0
専門	共通	農業経営・演習、農業法規、農業関連産業論、簿記概論、農業情報処理基礎・応用、農業情勢Ⅰ・Ⅱ、土壌肥料概論、農業機械・基礎実習・操作実習Ⅰ、マーケティング論・演習、食品製造、スマート農業実践、GAP概論、卒業論文		
	選択	585	0	135
専門	水田 野菜 果樹 花き	簿記検定講座、毒物劇物取扱解説・資格講座、農業機械操作実習Ⅱ		
	畜産	255	30	1,440
		農業概論、作物保護、植物生理、環境保全と農業、有機農業、農産物流通、経営基礎、経営応用、経営実践、農学実験、先進農家等留学研修、経営研修、経営実習、食品製造演習(水田・野菜・果樹のみ)、フラワー装飾演習(花きのみ)		
		畜産概論、家畜繁殖学、家畜繁殖学Ⅰ・Ⅱ、家畜栄養学、家畜衛生学、畜産環境保全、家畜解剖生理学、家畜解剖実験、先進農家等留学研修、経営実習、乳用牛・肉用牛概論、飼料作物、食品製造演習、(択一選択)乳用牛・肉用牛飼養管理技術応用、(択一選択)乳用牛・肉用牛経営		

■ 取得できる資格

専門士(卒業時)、大型特殊免許・けん引免許(農耕車限定)、刈払機取扱作業安全衛生教育、簿記資格、毒物劇物取扱者、日本農業技術検定、土壌環境検定、家畜人工授精師 など

学校教育法に基づく「専修学校」に認可(平成20年4月)

→卒業時に「専門士」の称号が付与され、大学への編入学が可能

■ 農短生LIFE!!



◆ 入校式



◆ スポーツ大会



◆ 植付祭



◆ 授業風景



◆ 実習風景



◆ 直売実習



◆ 校内球技大会



◆ 櫛隆祭



◆ 収穫祭



◆ 卒業論文発表会



◆ プロジェクト発表会



◆ 卒業式

未来を学ぶ

- 平成27年度～30年度にかけ、教育体制の刷新と施設整備を実施
- 5つの経営学科(水田、野菜、果樹、花き、畜産)体制により実践的な教育を強化
- 農業の成長産業化を支える強い営農意欲や経営感覚を身につけた卒業生の輩出を目標

■ 農業経営の実践を学ぶ教育を深化

◆ 責任分担管理体制を導入

2年生時に、水田、園芸ハウス、果樹、家畜等の農場区画を自ら担当し、生育や気象に合わせた生産管理を実践。

◆ 教育科目を先進化

先進的な農業者や外部講師等の教授陣により、農業情勢の変化に対応できるカリキュラムを実現。

◆ JGAPを取得

地域のモデルとするため、農業生産工程管理のJGAP認証を取得(米、トマト、ブドウ、ソバ、キュウリ、カキ)。



野菜・花きの技術習得のための環境制御施設



法人就農を視野に整備した畜舎



水田フル活用を学ぶ
地下水水位制御システム(FOEAS)導入



外部講師による農業経営講座



高品質・高収量を目指しながら、JGAP認証トマトを栽培



知事へのJGAP認証ブドウの収穫報告

■ 流通・販売分野の教育を強化

農産物の生産分野のみならず、流通、加工技術、商品開発についても学習するほか、

校内直売施設「アグリハウス万菜」において、年間6回程度、直売実習を実施。



アグリハウス万菜での直売実習

■ 海外農業研修

国際化に対応した幅広い視野を身につけるため、経営研修の選択科目として、1年生を対象とした海外農業研修を実施。

- 平成29年度ニュージーランド (H30.2.25~3.3)
- 平成30年度タイ (H31.3.17~3.22)



キウイフルーツ農園での研修(ニュージーランド)

■ 進路教育を充実

- 就農目標(自営・雇用)に対応した就農者養成講座を実施。
- 就業に向け、学生1人1人にあつたサポートを実施。
- 就農サポート支援員を配置し、学生の希望に沿った就農をバックアップ。



雇用就農に向けた農業法人説明会

『アグリカレッジ福島』の5つの学科

実践
を
体感

- 平成29年度より水田、野菜、果樹、花き、畜産の5つの経営学科体制に刷新
- 学科毎に講義・演習、実験、校外研修を含めたカリキュラムにより、農業経営に必要な技術を習得
- 生産管理や加工・販売までの体験を通して、農業経営に必要な判断力を身につける

水田経営学科

稲、麦、大豆などの土地利用型農業経営に必要な専門的な知識、技術及び経営管理を学びます。

地下水位制御システム（FOEAS）の活用など、田畑輪換や輪作体系による水田の有効利用や省力・低コスト栽培技術等を学習します。



ドローン施肥



稲刈

野菜経営学科

県内で栽培される野菜による経営を行うための専門的な知識、技術及び経営管理を学びます。

自動換気装置、遮光カーテン、暖房機等を装備した施設を活用した、高度な栽培技術の習得や、安全・安心な野菜の生産に欠かせない地域のモデルとなる生産工程管理（GAP）を学習します。



トマト栽培管理



バレイシ土寄せ

果樹経営学科

果樹の専門的知識、技術及び経営管理の習得により、県内の果樹農業を担う人材を育成します。

大規模な樹種複合経営と高品質・安定生産の実現に向け、ブドウ、ナシの省力栽培体系やハウス栽培などの先進技術を学習します。



ブドウの高品質果実生産



ナシのジョイント仕立て

花き経営学科

県内の主要花きを中心に、花き経営を行うために必要な専門的な知識、技術及び経営管理を学びます。

複合環境制御施設を活用し、高度な環境制御技術による開花調節や高収量・高品質、品質保持等の生産技術、経営管理の基礎を学習します。



環境制御施設でのシクラメン栽培



花き収穫技術の習得

畜産経営学科

自家就農や農業法人への就職により畜産経営を実践する人材を育成します。

家畜の快適な環境に配慮した畜舎等を活用し、乳用牛、肉用牛の飼養管理技術や自給飼料生産等について学習します。また、家畜人工授精師の資格取得を目指します。



牛体測定実習



搾乳実習

実践教育

- 「実践教育」を学びの基本として、地域農業のリーダーとなる人材育成を教育目標
- 学生一人一人の主体性を育みながら望ましい就農観を醸成
- 各地より農業への熱い思いをもった学生が集い、「未来の担い手」を目指している

本県の水田農業を支える

水田経営学科2年 菅野 辰弥



福島県の米を支える担い手になります！

私の実家では水稲とトマトを生産しており、本校を卒業後は両親の農業を継ぎたいと考えています。そのため知識と技術を身につけ仲間づくりをするために、本校への入学を決めました。就農後には、水稲の大規模化とトマトハウスの増設をしていきたいと考えています。大規模化するために必要な知識と技術を得るための経験が本校の実習や授業の中で学んでいます。私は、福島県外の人達にも私の育てたものを食べてもらい喜んでもらえる農業者になりたいと思っています。

花き生産を支える人材に

花き経営学科2年 設楽 芳毅



高品質な花を生産していきます！

私の実家は水稲とユキヤナギなどの切り花を生産しており、将来経営を引き継ぐために本校に進学しました。就農時にシンテッポウユリの栽培を開始するため、卒業論文ではシンテッポウユリの播種時期をずらし、需要のピークである旧盆に開花の盛期を迎えられるかを調査しています。ここでの学びを活かし、将来は農林水産大臣賞を取れるユリを栽培し、地域農業の活性化に努めたいと思います。

地域を支える生産者を目指して

野菜営学科2年 鈴木 真央



栽培から販売まで、実践的な知識・技術が学べます！

私は将来、実家で祖父母が経営するキュウリ生産を引き継ぐために必要な知識や技術を身に付けたいと思い、本校への進学を決めました。実習では仲間と協力しながら、野菜の生産から販売までの作業に取り組み、充実した学校生活を送っています。また卒業論文では、キュウリの養液栽培に取り組み、培地や栽培方式の違いが及ぼす影響を調査し、安定した収量、品質の確保を目指しています。卒業後は、経営規模の拡大や収量、品質の向上を目指し、より多くの人に自分の生産したキュウリを届けられるよう頑張りたいです。

果樹専門農家の伝統を継ぐ

果樹経営学科2年 菊地 聡



技術力と経営力が身に付けられます！

私の実家は、果樹専門農家で、ブドウを中心にナシやモモを栽培しています。幼少の頃からの夢だった「父の跡を継ぐ」という念願から、本校に入学しました。現在は、果樹栽培の技術や知識を習得するため、何事にも意識をもって日々の実習等を行っています。卒業論文では、これまで有核栽培が一般的だった「ナイアガラ」という品種に着目し、近年消費者志向の高い無核栽培が可能かどうかということを研究しています。将来は、経営規模を拡大しながら、安全・安心な果実を生産していくとともに、地元の農業を支える人材になりたいと思います。

牛と働くために

畜産経営学科2年 菅野 ひかり



たくさんの人に牛のことを知ってもらいたいです！

私は、小さい頃から動物が好きで農業高校に入学し、そこで初めて牛に触れたときから「これを仕事にしたい！」と思い、本校に入校しました。学科では、乳用牛・肉用牛について学ぶことができ、牛の管理や経営について知識を深めています。卒業後は、ここで得たものを活かし、県内の和牛繁殖経営の法人に就職します。福島県の農業に貢献できるように頑張りたいと思います。

産 業 を 支える

- アグリカレッジ福島は令和4年度で34周年を迎え、これまでに1,808名が卒業
- 福島県の成長を支える多くの農業者を輩出するほか、農業関連産業、食品産業などを中心に就業
- 地域や産業を支えるキーパーソンとして、多方面で活躍

■ 成長する福島の農業を支える卒業生たち

自営 就農



◆ 全国屈指の果樹産地を牽引

小野徳章さん【平成28年度 園芸学科卒】

福島市で果樹農家の後継者として、両親の経営とは別に、モモとブドウの新規部門の経営を実践しています。特にブドウ部門の「根域制限」による新たな栽培法は、県内では初めての試みです。また、後継者会の活動も積極的に行っています。

自営 就農



◆ 米作りで地域のにぎわいを取り戻す！

遠藤亜美さん【平成29年度 水田経営学科卒】

南相馬市鹿島区でコメ作りを始めた遠藤さん。震災の影響もあり、高校では花の専攻でしたが、本校では元々興味があった稲作について学びました。身につけた知識や技術、資格を生かし、地域に以前のようなにぎわいを取り戻そうと奮闘中です。

法人 就農



◆ 次世代が夢と希望を抱ける地域をつくる

杉下博澄さん【平成13年度 農学部研究科卒】

葛尾村で胡蝶蘭栽培に取り組む杉下さん。本校卒業後、東京千住青果勤務を経て他産業に12年間勤務。その後、震災を契機にふる里復興への強い思いが起り、かつらお胡蝶蘭合同会社を立ち上げた。まさに復興最前線で活躍中！

関連 産業



◆ 食肉のプロを目指して頑張ってます！

伊藤花恵さん【平成29年度 畜産経営学科卒】

郡山市の福島県食肉流通センターに30年4月から勤務。県内畜産農家から出荷される牛や豚の解体・加工を行っています。どんな作業も完璧にできるようになるのが目標という伊藤さん、畜産農家を支える頼もしい存在です。

大学 進学



◆ 日本農業を支える関連産業で活躍

二階堂悠憲さん【平成26年度 園芸学科卒】

二階堂さんは、本校卒業後、岩手大学農学部に進学。本校では野菜専攻として栽培知識を習得。その中で栽培環境によって収量品質に変化が生まれることに関心を持ち、大学では栽培環境システム学を専攻。現在は、農薬メーカーに勤務。農業試験場等と協力し農薬の販売普及を通して農業振興に携わっています。


 自営
就農

佐藤 克也さん
【平成30年度
野菜経営学科卒】

東京で10年間サラリーマンを勤めていましたが、白河市でブロッコリー栽培をする妻の実家の後継者として農業を始めました。農業について全く知識がありませんでしたが、本校で学ぶことができました。

現在はブロッコリーを主に、米・トウモロコシなど栽培し、今後は法人化に向けて規模拡大に取り組んでいます。


 大学
進学

岡田 拓実さん
【平成30年度
野菜経営学科卒】

野菜専攻として栽培知識を習得する中で、栽培に欠かせない農業薬品に関心を持ち、秋田県立大学生物資源科学部に進学し、除草剤を用いた研究を行っていました。

大学卒業後は、農薬メーカーである、北興化学工業株式会社に勤務し、JAや農家の方々と協力し農薬の普及販売を通して農業振興に携わっています。

省力化等の農業のニーズにあった農薬販売を通して、農家に頼っていただける営業を目指しています。

毎日刺激的で学びのある2年間を過ごす中で、在学中にしか得られない知識の習得や、今後の目標を見つけてほしいです。



公務員

小野 梓さん【令和2年度 畜産経営学科卒】

国立研究開発法人 農業・食品産業技術研究機構では、全国各地にある研究センターにおいて、各地域の多様な気候風土に合わせた農業生産技術の開発を行っており、農業における様々な問題を解決し、生産現場に貢献できると考え、また、自らの知識と技術の向上にも繋がられると感じたため、進路に選びました。実験動物（牛）の飼養管理及び研究支援業務に携わっています。在学中に家畜人工授精師を取得したため、普段の業務に生かせるようにしたいです。

学生時代にしかできないことがたくさんあると思うので、今を思いきり楽しんでください。今後も皆様のご活躍を楽しみにしています。

川村 結さん【令和2年度 水田経営学科卒】

生まれ育った故郷で水稻栽培をしたい、田園を守りたいという思いから、福島市の株式会社穂之和元気ファームで、農業生産者として水稻、大豆を生産しています。“福島市の米農家と言えば自分”と言われるように日々頑張っています。

大変なことも多いと思いますが、この産業を担う自負と覚悟があれば乗り越えられるはず。共に頑張りましょう。



法人
就農

酒井 信治さん【令和2年度 花き経営学科卒】

私は卒業後、地元昭和村の昭和農園合同会社に勤務しております。小・中学生の時に地域学習で特産品のカスミソウという花について学び、花き栽培に関心を持ったためアグリカレッジ福島で花きについて学びました。

現在は生産についてほぼ全ての業務に携わっております。年々経営面積が増えているため、より高い技能を習得できるよう努力する毎日です。

農短大で学べることは実践で大いに役立ちます。疑問に思ったこと、閃いたアイデアなどは積極的に身近な人に発信して、学生の中に体験できることはたくさん経験してください。どこかで皆さんと関われる日を楽しみにしています。よい学生生活を！



千野 優香さん【令和3年度 果樹経営学科卒】

在学中に研修でお世話になったご縁もあり、また、栽培や販売の仕方に興味を持ったため、卒業後は須賀川市にある渡辺果樹園に就農しました。

現在は、モモ、和ナシ、洋ナシ、そして5年後の独立に向けブドウを栽培中です。

モモ、ナシ、ブドウの知識を実際に経験しながら身に付けていきたいです。

非農家でも農業を職にすることはできるけど、なれる道は少ないから、チャンスは逃さないように頑張れ!!

■ 主な進路

区分		就職先等(一部)
就農	自家	県内各地
	法人	(有)I LOVEファームおだか、JA全農福島菌床しいたけイノベーションセンター、会津きのこ工房(農)、会津農匠(株)、(農)アグリ、(株)あだたら高原そうふく園芸、あづま果樹園、イオンアグリ創造(株)、(有)今泉畜産、(有)いわき中央牧場、(有)ウェルシーファーム、内山氏牧場、(株)恵美寿、御稲プライマル(株)、(株)學、(有)郡山アグリサービス、佐藤牧場、(株)自宇、(有)鈴木農園、(株)すとう農産、(株)ダイゴ、高ライスセンター(有)、(有)とまとランドいわき、(株)トマル、(株)ナラハプラントファクトリー、(株)ネクストファームおおくま、(農)結乃村農楽団、(株)ビーフジャパン、(農)ひかり、(株)菱沼農園、(有)ビッグフィールド、百笑一喜、(農)ヒュッテファーム、(有)平田観光農園、(株)フェリスラテ、プランテーション小高、(株)フリーデン、フルーツいしい、(株)ふるや農園、(有)フロンティア、ベルグ福島、(株)穂之和元気ファーム、(有)瑞穂農場、(株)緑里、南相馬復興アグリ(株)、(有)都路農場、(株)ミンナノチカラ、雪割牧場(有)、楳園芸(株)、(株)夢ファーム福島、(株)蓬田、渡辺果樹園
	研修	林業アカデミーふくしま
農業協同組合等	JA会津よつば、JA東西しらかわ、JAふくしま未来、JA夢みなみ	
農業団体	(有)鹿追町デーリーサービスカンパニー、上越市柿崎土地改良区	
農業関連企業	会津天宝醸造(株)、青木フルーツホールディングス(株)、(株)アルプスアグリキャリア、大内わら工品(株)、カネコ種苗(株)、きのこ総合センター(株)、窪田アグリサービス(株)、グラントマト(株)、(株)グリーンラボ、コープ食品(株)、(株)郡山大新青果、(株)コメリ、削蹄師、(株)笹の川酒造、サンデー(株)、清水食品(株)、(株)ダイユーエイト、(株)チーム那須、(株)トーニチ、日本ニューホーランド(株)、拓進運輸(株)、(株)福島県食肉流通センター、プラネット(株)、ほまれ酒造(株)、(株)ミートコンパニオン、(株)南東北クボタ、むらせライス福島工場、(株)メイフラワー、(株)山新、山本商事、ヤンマーアグリジャパン(株)、(株)リオン・ドールコーポレーション、(株)中セキ東北	
公務員	家畜改良センター、農研機構、福島県動物管理員、福島県農場管理員、農業高校実習助手、陸上自衛隊一般曹候生	
進学	秋田県立大学編入、新潟食料農業大学編入、日本大学編入、山形大学編入	

地域を応援

- 一般の方々を対象に「就農研修」、「長期就農研修」、「農産加工研修」、「農業機械研修」の研修を実施
- 年間を通して多くのカリキュラムを実施し、農業者や農業・食品等の関連産業の発展を応援
- 多様化するニーズに応えるため、事前申し込みにより校内の施設の利用が可能

■ 就農研修

◆ 初級

今後就農を考えている方を対象に、基礎的な学習や農作業（露地野菜等）を体験。



◆ 中級

新たに自家就農または法人に就農した方を対象に専門的な栽培技術を研修。



■ 長期就農研修

福島県内で就農を志す方を対象に、支援員のサポートの下、栽培、飼養、機械操作等の実践的な研修及び講義を実施。

- 期間 1年間（4月～翌年3月）
- 研修科目

施設野菜、露地野菜
果樹、花き
水稻・畑作物
畜産、有機栽培



■ 農産加工研修

農業者や加工業者等を対象に研修を実施。

- ・初心者を対象とした加工基礎研修
- ・農産物加工販売者を対象とした加工応用研修
- ・商品開発・試作のための施設利用研修



■ 農業機械研修

農業者等を対象に研修を実施。

- ・トラクタ（単体・けん引）操作の基本技術及び安全運転技能を習得
- ・機械操作・点検整備の研修
- ・安全な農作業推進研修
- ・運転コース・ほ場等を利用した施設利用研修



■ 研修の日程・受講など

研修の内容や日程確認、申し込みについては、「アグリカレッジ福島」で検索、WEBサイトで確認ください。

電話による問い合わせも可能です。お気軽にお問い合わせください。

福島県農業総合センター農業短期大学校

住所 福島県西白河郡矢吹町一本木446番地1

Tel 0248-42-4114 Fax 0248-44-4553

Email nougyou.noutan@pref.fukushima.lg.jp